

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 「おおた芝桜まつり・イルミネーション運営業務委託事業」

	H28年度予算額	(参考) H27年度決算額	(参考) H26年度決算額
芝桜まつり事業費	15,000,000 円	22,286,710 円	21,220,278 円
イルミネーション事業費	15,000,000 円	18,702,237 円	21,654,334 円
合計	30,000,000 円	40,988,947 円	42,874,612 円

事業評価チェック表

PLAN	<ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 「北部運動公園事業推進協議会」が事業運営を委託され実施している。(協議会は、太田市、観光協会、商工会議所、地元区長会、関係機関等で構成) 平成 20 年 3 月 31 日に供用開始となった八王子山公園(北部運動公園)において、おおた芝桜まつりは平成 20 年度の全国都市緑化ぐんまフェアから 9 回、イルミネーションは平成 21 年度から 7 回それぞれ事業を実施している。 ねらい 太田市を代表する観光スポットとして、1 年を通して観光誘客のできる公園として両事業を実施していく。 予算 平成 28 年度おおた芝桜まつり運営事業委託料 15,000,000 円 平成 28 年度イルミネーション運営事業委託料 15,000,000 円
	<ul style="list-style-type: none"> 事業実績 平成 25 年度 おおた芝桜まつり 4/3~5/12 (40 日間) 来場者数 164,700 人 駐車場収入 9,497,000 円 イルミネーション 11/16~1/13 (59 日間) 来場者数 117,300 人 駐車場収入 14,381,000 円 平成 26 年度 おおた芝桜まつり 4/3~5/11 (39 日間) 来場者数 212,700 人 駐車場収入 16,034,500 円 イルミネーション 11/15~1/12 (59 日間) 来場者数 101,900 人 駐車場収入 11,747,000 円 平成 27 年度 おおた芝桜まつり 4/8~5/6 (29 日間) 来場者数 133,600 人 駐車場収入 13,818,500 円 イルミネーション 11/14~1/11 (59 日間) 来場者数 101,800 人 駐車場収入 10,507,500 円 平成 28 年度 おおた芝桜まつり 4/7~5/5 (29 日間) 来場者数 130,700 人 駐車場収入 10,404,500 円

CHECK	評価項目	評価基準(概要欄の○)	評価点	評価コメント
	必要性 (市民ニーズ)	きわめて必要性が高い(20点)		15
必要性が高い(15点)		○		
どちらかと言えば必要性がある(10点)				
必要性が低い(5点)				
必要性がない(0点)				
公共性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない(20点)		15	本市の観光資源は乏しく、民間で観光事業を行うことは難しいため、市が実施するべきである。
	公共性が高い(15点)	○		
	どちらかと言えば市が実施(10点)			
	公共性が低い(5点)			
	公共性がない(0点)			
費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	きわめて効果的である(20点)		15	市民の憩いの場の提供という点で効果的な事業である。近隣の花・イルミの名所と時期が重なることで、市県外からの来場者も見られ、観光入込客数の増加に大きく寄与している。
	効果的である(15点)	○		
	どちらかと言えば効果的(10点)			
	どちらかと言えば非効果的(5点)			
	非効果的である(0点)			
優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	きわめて優先性が高い(20点)		10	地域インフラ整備等生活に密着した事業と比較すると優先性は低くなるが、開催期には近隣の名所と併せての観光バスツアーも来ている。市民にとっても身近な観光地であり、癒しを与えられる事業である。
	優先性が高い(15点)			
	どちらかと言えば優先性がある(10点)	○		
	優先性が低い(5点)			
	優先性がない(0点)			
成果 (目標の達成状況)	きわめて成果があがっている(20点)		15	観光バスでの来客など市外からの多くの来場者の喜び姿が見受けられる。高速道路から見える風景は、本市の素晴らしさを十分に発信できている。
	成果があがっている(15点)	○		
	どちらかと言えばあがっている(10点)			
	どちらかと言えばあがっていない(5点)			
	成果はあがっていない(0点)			

ACTION	評価	総合評価基準		計	70/100	課題 来場者数増加のため、新たな目玉イベント開催、他事業や近隣の花・イルミの名所との連携、旅行会社へのPRを強化すべき。イベント出店者としてより多くの物産業者を取り込むこと。イベント開催時の駐車場等の利便性向上が求められる。
		5	きわめて良好である	80点以上		
		4	適正である	60~79点	○	
		3	おおむね適正である	40~59点		
		2	問題がある	20~39点		
		1	不適正である	19点以下		

決算事業評価結果表

評価	今後の方向性基準評価(概要欄の○)		評価	決定理由	
	5	「拡充する」			
	4	「現状のまま継続する」			○
	3	「改善・効率化し継続する」			
	2	「見直しのうえ縮小する」			
1	「不適正である」				

事業名称	議会評価		特定理由(今後の事業展開)
	総合評価	今後の方向性	
おおた芝桜まつり・イルミネーション運営業務委託事業	4	4	本事業は、市民に定着し、市外からもお客様を呼び込める貴重な観光事業であり、現状のまま継続するべきであるが、来場者数増加という課題が挙げられる。芝桜やイルミにおける開催年ごとのテーマ設定や目新しさのある演出、他のイベントや近隣の花・イルミの名所との連携強化、「太田市の花」のような本市になじみのある花の植栽、本市のお土産等の物産業者を一堂に集めたイベント開催、旅行会社やメディア等への情報発信の充実など、更なる創意工夫をすることで、今後とも子どもから大人まで楽しめる芝桜まつり・イルミネーション事業となることを望む。